

令和8年10月20日

中学3年生・保護者の皆様

東京都立王子総合高等学校長
阿久津 恵理子

令和9年度 福島ホープツーリズム実施に向けた語り部講演会について

紅葉の候、皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて、本校では来年入学予定の17期生から、1年次に福島ホープツーリズム宿泊行事を行う予定です。すでに学校案内P14や、夏の学校案内会、10月からの学校説明会における校長説明にてお聞きになった方も多いかと存じます。

この度、事前準備の一環として、東日本大震災による被害に遭われた方の「語り部講演会」を開催することとなりました。ご興味のある方は、ぜひ事前予約の上、ご参加ください。

なお、当日は、本校教職員、保護者、学校関係者も同席することをご了承ください。本件について、ご不明な点やご相談がございましたら、副校長までお問い合わせください。皆様のお申し込みをお待ち申し上げております。

記

1 講演日時 令和8年11月27日（金）16:00～17:00 受付15:30～

2 講演場所 東京都立王子総合高等学校 1F 視聴覚室

3 講演概要
題 目 「原発から25キロに住む1人として」
講演者 語り部 高村 美春 さん（東日本大震災・原子力災害伝承館）
内 容 2011年3月11日の東日本大震災当時、南相馬市に在住の高村さんが、緊急避難時にどんな情報をもとに、どう動き、何を考え、家族と困難を乗り越えたかを、リアルに力強く語っていただける講演です。
長年語り部としての経験を積まれた高村さんの「福島はいまだに復旧も復興もしていない」という嘆きを、根拠資料とともに聞く機会は大変貴重です。
福島原発の電力に頼っていた私たち東京都民は、この講演をきっかけに複合災害に遭った福島が歩んできた15年間について、あまりに無知であることに気づかされます。そして自分に何ができるか考え始めるはずです。
校長阿久津が10月9日に福島を訪れた際、偶然高村さんの語り部講演を伝承館でお聞きしたことが縁で、本校での講演が実現いたしました。

4 申込対象 来年度、本校受検希望の中学3年生とその保護者（先着70名限定）
※ 当日は教職員、在校生保護者、学校関係者が同席の予定です。

5 申込み方法 講演前日11/26（木）までに右記のQRコードより
申し込みを終え、当日受付してください。



6 留意点
・車やバイクでのご来校は避けてください。
・人物、投影資料の写真撮影、録音は認められておりません。
・途中入室、途中退室は理由があれば可能です。

講演会申込

お問合せ先
都立王子総合高等学校
副校長 遠藤 大輔
〒1140023 北区滝野川 3-54-7
TEL 03-3576-0602